

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	同種造血幹細胞移植前治療としてのアザシチジンに関する研究
	研究目的	<p>骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植前治療としてのアザシチジン投与が移植成績に与える影響を検討する。単施設の検討では症例数が限られており、日本造血細胞移植学会の一元化登録事業データを用いた国内大規模後方視的解析を計画した。</p> <p>近年、アザシチジンをはじめとした DNA メチル化阻害剤が骨髄異形成症候群に対してひろく投与されるようになっている。しかしながら、同種造血幹細胞移植前治療としてのアザシチジン投与が移植成績に与える影響は未だ明らかでない。そこで同種造血幹細胞移植前にアザシチジンを投与された症例の臨床経過を検討し、その移植前処置としての役割を明らかにすることを目的に本研究を計画した。適切な前治療が明らかになれば、骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植の成績向上につながると期待される。</p>
	研究期間	2016年12月8日から2018年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	金森平和
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	金沢大学病院(石山 謙)